Press Release

四国電力
しあわせのチカラになりたい。

２０２６年１０月３０日
四国電力株式会社

愛媛県内の脱炭素電源を活用した地産地消型の電力供給スキーム および南予地域でのデータセンター事業の検討開始について

当社は、「四国デジタルゲートウェイ構想」のもと、デジタルインフラの整備と、四国域内へのデータセンター（ＤＣ）誘致に向けた取り組みを進めることとしております。

その一環として、このたび、当社は、伊方発電所を中心とした愛媛県内の脱炭素電源を活用し、同県内に立地するＤＣ等へ供給する地産地消型の電力供給スキームの構築に向けた検討を開始することとしました。

本スキームの実現により、ＤＣ事業者は安定的な脱炭素電力の活用が可能となるほか、国のＧＸ戦略地域制度「脱炭素電源地域貢献型」の活用も見込まれ、ＤＣ等の誘致促進につながるものと考えております。

■愛媛県内の脱炭素電源を活用した地産地消のイメージ
～国のGX戦略地域制度「脱炭素電源地域貢献型」の活用～

伊方発電所他の脱炭素電気を
愛媛県のデータセンターで使用

加えて、「エネルギーとデジタルで未来を創造」とのグループビジョンに基づき、当社グループ自らも四国内でのＤＣの立地検討に取り組んでおり、とりわけ原子力発電所の立地地域である愛媛県南予地域における生成ＡＩ向けＤＣ事業について検討を進めることとしました。

今後、具体化に向けて、本年１１月１日付で「愛媛データセンタープロジェクトチーム」を設置するとともに、愛媛県と官民共創のワーキンググループを立ち上げ、自治体や関係事業者と連携しながら、地域との共生を大前提に検討を進めてまいります。

以　上